

鳥取 境港

鳥取県境港(さかいみなと)市は、弓ヶ浜半島に位置し、人口約三万七千人。西に中海を抱え東は美保湾に面します。日本海の荒波から守られた古くからの天然の良港、カニの水揚げ日本一の港町です。この町に、もうひとつ名物があります。『ゲゲゲの鬼太郎』で有名な漫画家水木しげるさんの出身地にちなみ、妖怪水木ワールドを作ったのです。

JR境線は、米子駅は「ねずみ男駅」、境港駅は「鬼太郎駅」など

と十六駅すべてに妖怪の愛称がついています。列車の車体や車内の天井に至るまで妖怪でいっぱい。私のあとから乗り込んできた女子大生風の若い女性三人組は各駅の愛称とその解説ボードに見入り「さすが!」と感心しています。

四十五分間で終着境港駅(鬼太郎駅)到着。駅前広場から延びている「水木しげるロード」。全長約八百メートル。両サイドには大小の妖怪ブロンズ像百十九体がズラリ。

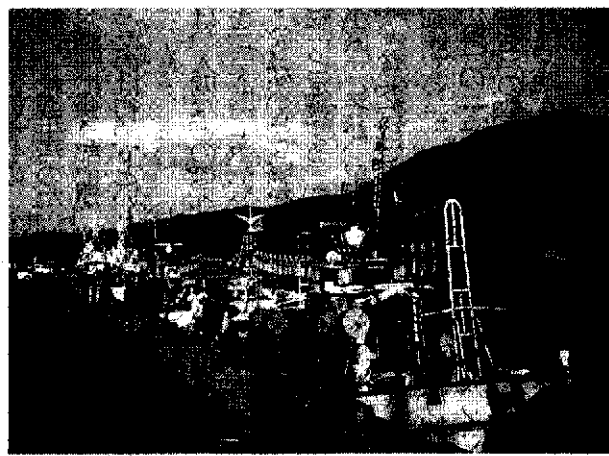
「鬼太郎」「目玉おやじ」「ねずみ男」と、おなじみのキャラクターがズラリ。

やがて「水木しげる記念館」に到着。数多

が観光客の目を楽しませてくれます。

「鬼太郎」「目玉おやじ」「ねずみ男」と、おなじみのキャラクターがズラリ。

やがて「水木しげる記念館」に到着。数多



係留中のイカ釣り船

この妖怪が紹介されています。また、生い立ちから今日までをビデオで紹介しています。

水木さんは一九四三年、二十一歳で徴兵され、南洋のラバウルへ送られます。奇襲を受



海とくらしの史料館のマンボウのはく製

け部隊は壊滅、必死の逃亡、海岸線を走り、泳ぎ、ジャングルを逃げ惑いました。歩き疲れた方向感覚も失ったときに行く手を阻むものがある。それが巨大な妖怪「ぬりかべ」だったというエピソードは、リアルで恐ろしい。

マラリアを発症し、揚げ句の果てに敵機に急襲され、左腕を麻酔なしに切断したのが翌四四年のことでした。

翌日は朝早くから起きたして、海岸道を散歩。イカ釣り船が数艘、係留されています。甲板で三人の漁師が車座になって食事をとっていました。夜に出漁するのだといま

旅

鬼太郎、ねずみ男 若者に妖怪人気

国指定史跡「境台場跡」へ。幕末期、黒船の来襲に備え、土塁を築き砲台を据えた跡です。隣接して「海とくらしの史料館」があり、世界最大級というマンボウのはく製を見ることができます。

ふたたび「水木しげるロード」へ。若い女性の観光客がグループで、また男女カップルではしゃぎながら歩いています。どんな願い事でもかなえるという「妖怪神社」の前にはそんな若い人が集まっています。昨日、列車で見かけた女子大生三人組が笑いながら神社から出てきました。神社でよい卦(け)がでたのでしょうか? うれしそうです。

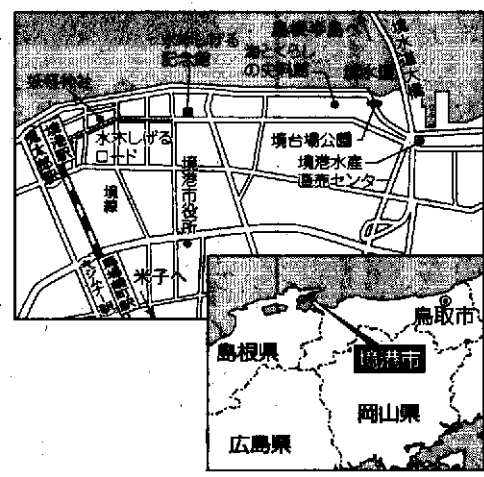
福山斌尋(よしひろ)



妖怪神社は若者に人気



等身大の「ねずみ男」のブロンズ像



【交通】JR境線境港下車
 【問い合わせ】境港市観光案内所 ☎0859(47)0121